

放射線診断科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の人を対象とした医学系研究に関する倫理指針（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]

胆・膵悪性腫瘍術後の症候性門脈狭窄に対する経皮経肝的門脈ステント留置の検討

[研究機関] 北海道大学病院 放射線診断科

[研究責任者] 作原 祐介 （放射線診断科・助教）

[研究の目的] 今回の研究の目的は、過去の診療情報を基に当院における胆・膵悪性腫瘍術後の症候性門脈狭窄に対する経皮経肝的門脈ステント留置の治療成績を調査し、その現状と有用性を検討することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007年3月から2015年1月までの間に症候性門脈狭窄に対して北海道大学放射線診断科にて経皮経肝的門脈ステント留置による治療を受けた方

●利用するカルテ情報・調査項目

年齢、性別、臨床診断、術式、検査所見（血液検査）、画像所見（血管造影、CT、MRI、超音波検査）、門脈ステント留置の手技、手技後の結果です。これらの結果をもとに、治療成功率、術後合併症、転帰等を検討します。

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することを ご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院放射線診断科 担当医師 作原 祐介

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7876